

個人投資家の皆様へ 会社説明会

第一実業株式会社（証券コード：8059）

2025年7月9日（福岡）

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、
実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



目次

- 01 会社概要**
- 02 2025年3月期決算概要**
- 03 成長戦略「V2030」・中期経営計画「MT2027」**
- 04 注力分野**
- 05 環境負荷低減に向けた取り組み**
- 06 株価・株主還元**

01 会社概要

数字で見る第一実業

創立



77年
Since 1948

従業員数



単体

661名

連結

1,467名
* 2025年3月31日現在

海外拠点数



18カ国

36拠点

* 2025年6月30日現在

取引企業数



得意先

約 **3,900**社

仕入先

約 **4,700**社

財務情報



連結売上高

221,755百万円

海外売上高比率

(仕向け先ベース)

52.6%

* 2025年3月期

長期発行体格付

(株式会社日本格付研究所(JCR))

* 2024年9月5日現在

A⁻ (安定的)

第一実業は

独立系 総合機械商社

自由な立ち位置で、さまざまな産業分野のお客様に
最適な機械や設備とソリューションを提供する企業



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025

Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

Vision

あるべき姿

次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

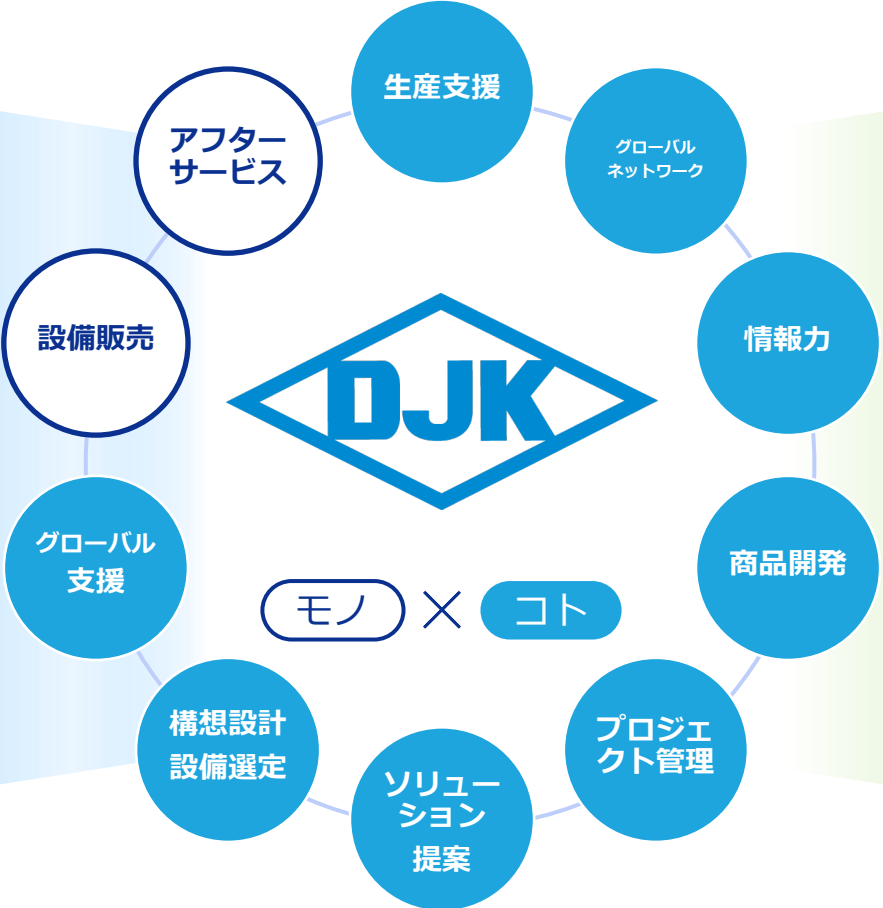
当社のビジネスモデル

消費者の皆さまへ



顧客軸 のビジネス

お客様ニーズに応え
幅広い商品や
サービスを提供



商品軸 のビジネス

特定の商品や
サービスを
幅広いお客様に提供

産業機械メーカー：機械設備・工場設備・周辺機器

DJKエンジニアリング

当社の現場力を発揮

- 生産ラインコンサル
- プロジェクト管理

ものづくり現場課題の分析

- 構想設計・メーカー選定
- グローバル支援体制

解決策の探索・創出

- 国際物流・工事・試運転
- 機械メーカー共同開発

納入後サポート

- アフターサービス
- 設備使いこなし支援

海外ネットワーク

海外18カ国36拠点を展開しています。

欧州エリア 4 拠点

・フランクフルト ・プラハ ・ブダペスト ・ソフィア

中国エリア 8 拠点

・上海 ・天津 ・蘇州 ・武漢 ・広州
・深圳 ・香港 ・台北

米州エリア 10 拠点

・シカゴ ・ヒューストン ・オースティン ・ノックスビル ・ケンタッキー
・ケレタロ ・モンテレイ ・レオン ・サンパウロ ・カナダ

アジアエリア 11 拠点

・シンガポール ・クアラルンプール ・ジョホールバル ・ペナン ・バンコク
・ジャカルタ ・ハノイ ・ホーチミン ・マニラ ・ラグナ ・ソウル
テクニカルセンター ★バンコク ★ハノイ ★ラグナ ★ソウル

インドエリア 3 拠点

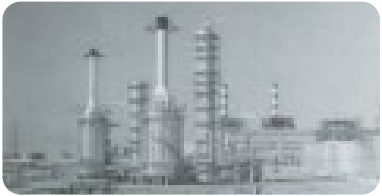
・ニューデリー ・バンガロール ・アーメダバード
テクニカルセンター ★ニューデリー

沿革（創業～70年代：事業領域の拡大）



1948年 創業

- 機械専門の商事会社として創業



1950年代 事業基盤の確立

- 基幹産業である石油精製などのビジネスを展開
- プラスチック業界へ進出



1960年代 営業手法の拡大・海外展開開始

- 東証二部上場
- 初の海外駐在員事務所を台湾・台北に設立
- 自動車業界へ進出
- 北九州出張所（現九州支店）開設（1964年1月）



1970年代 取扱製品・ビジネスモデルの拡充

- 東証一部上場
- メンテナンスサービスを開始（現 株式会社第一メカテック設立）
- 医薬業界へ進出

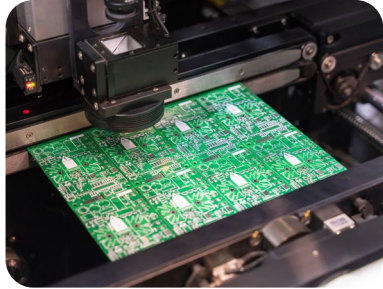
社是三原則

協力一致
堅実運営
積極活動

【創業時営業方針】

1. 機械販売に徹する
2. 大手企業との取引
3. 銀行との信頼関係を大切にする

沿革（1980年～2000年代：海外展開の拡大）



1980年代 新たな業界へ進出

- エレクトロニクス業界へ進出
- 航空業界へ進出



1990年代 海外拠点の拡充

- タイ・バンコクに現地法人 DAIICHI JITSUGYO (THAILAND) CO., LTD. 設立
- 中国・上海に現地法人 上海一実貿易有限公司 設立



2000年代 海外ネットワークの確立

- 第一実業ビスウィル株式会社発足（カネボウビジョンシステム（株）の全株式取得）
- リチウムイオン電池分野に進出
- シンガポールに現地法人 DAIICHI JITSUGYO ASIA PTE. LTD. 設立
- ドイツ・エシュボルンに現地法人 DJK EUROPE GMBH 設立

沿革（2010年代～現在：ビジネスモデルの進化）



2010年代 再生可能エネルギー関連ビジネスへ注力

- LIBプロジェクト室の設置
- 太陽光発電事業開始（笠間太陽光発電所・飯田太陽光発電所）
- バイナリー発電装置の取扱開始



2020年代 次世代型エンジニアリング商社を目指して

- 経営理念の制定・成長戦略「V2030」・中期経営計画の策定
- エンジニアリング本部の発足
- 株式会社ウェイブエンジニアリングの株式を取得（現 株式会社DJ-WAVEエンジニアリング）
- つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
- 田原バイオマス発電所合同会社への出資
- 米国・スタートアップ企業 MODE社へ出資
- インドに製造子会社 DJK ENGINEERING INDIA PVT.LTD. 設立

進化する産業機械サプライヤー



1952年

石油・石油精製
製紙業界を開拓



1959年

プラスチック業界
進出



1964年

自動車業界
進出



1979年

医薬業界
進出



1982年

エレクトロニクス
業界進出



1989年

航空業界
進出



2006年

二次電池分野
参入

中国エリア 1962 台湾・台北駐在員事務所

米州エリア

1968

ニューヨーク
駐在員事務所

1972

現地法人 (DJA) 設立
※ ニューヨーク

1997 上海一実貿易有限公司設立

アジアエリア

1971

シンガポール駐在員事務所

2005

DAIICHI JITSUGYO
ASIA PTE LTD (DJKA) 設立

インドエリア

2018

DAIICHI JITSUGYO
INDIA PVT. LTD. 設立

欧州エリア

1983

ロンドン駐在員事務所
(2009年閉鎖)

2008

DJK EUROPE GMBH設立



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025

事業分野：資源開発 石油 化学 素材 脱炭素・再生可能エネルギー DX エンジニアリング

主な取扱商品

石油精製
石油化学プラント用設備

次世代燃料ソリューション

製紙プラント用設備

石油・ガス・
地熱生産用地上設備

陸上・海上用掘削リグ

発電用設備

再生可能エネルギー
関連設備

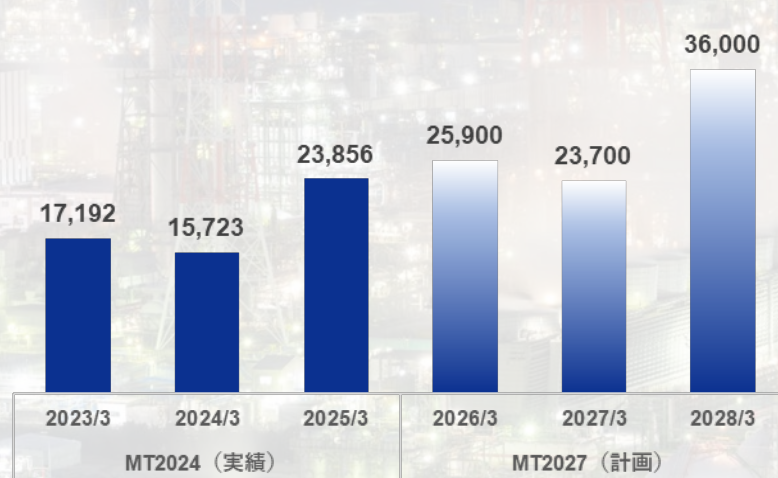
DXソリューション

環境設備

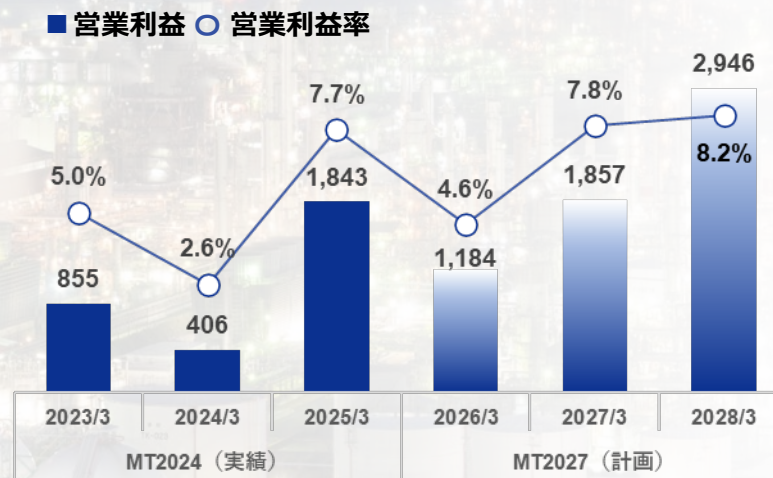
分析・測定装置

化学プラント用設備

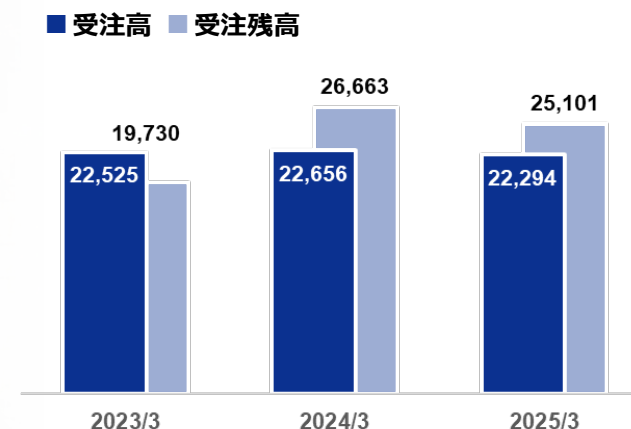
安全監視装置



売上高の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



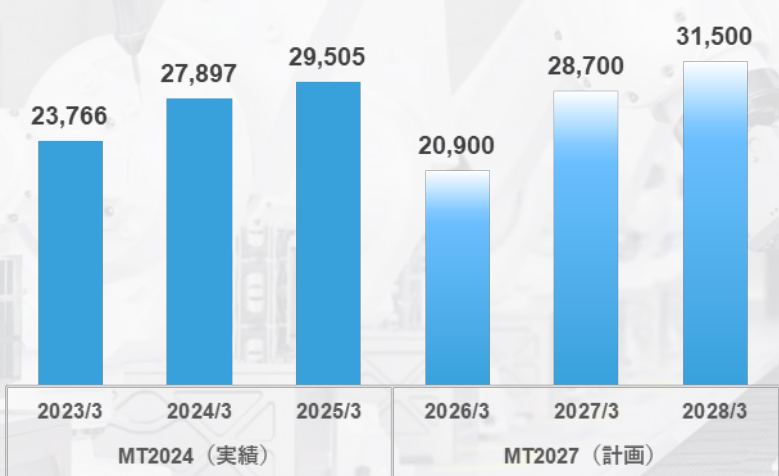
過去3年の受注高・受注残高の推移

産業機械

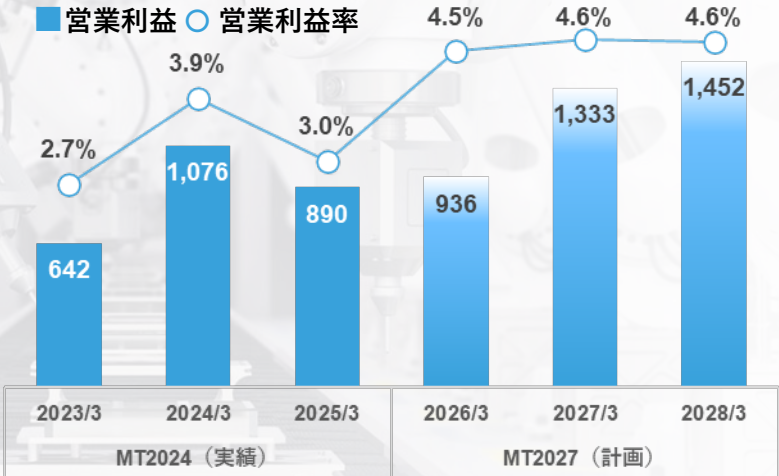
事業分野：家電・OA 食品包装 医療機器 住宅設備 物流資材 アグリ（イチゴ培養苗）

主な取扱商品

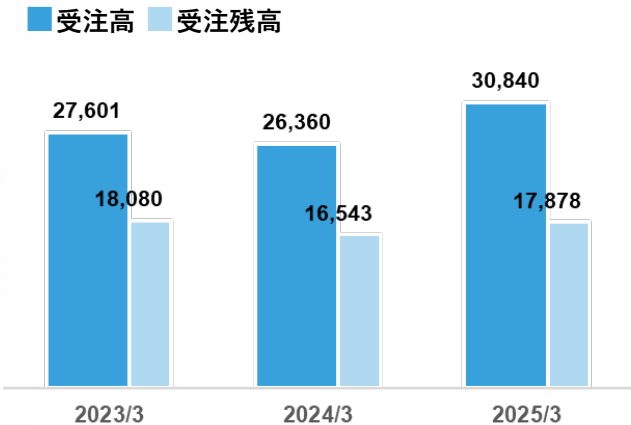
FAシステム	射出成形機	押出成形機	圧空・真空成形機	鋳造機	金属加工機
セラミック加工機	自動組立設備	マテハン・ロボットシステム	塗装・表面加飾設備	樹脂・砂型用3Dプリンター	充填・包装設備



売上高の推移
(MT2024実績／MT2027計画)



営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績／MT2027計画)



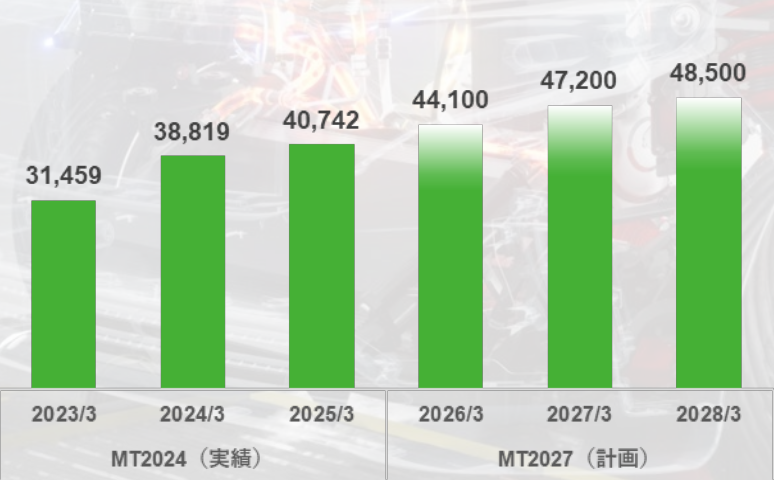
過去3年の受注高・受注残高の推移

自動車

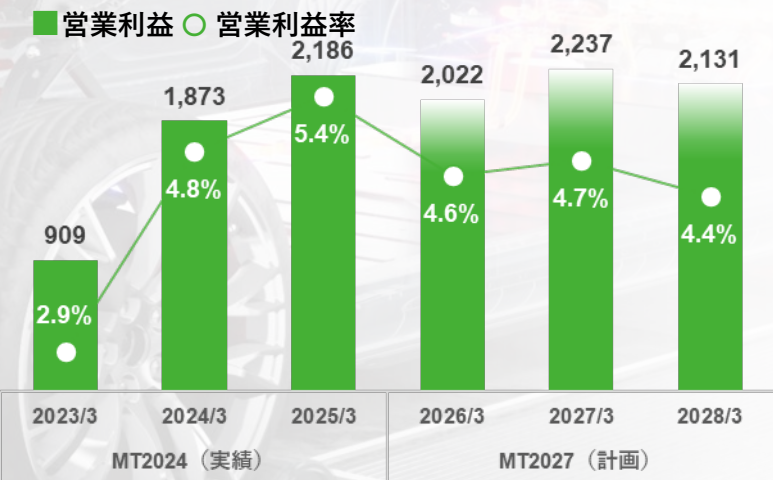
事業分野：車両内外装 パワートレイン カーエレクトロニクス・ADAS

主な取扱商品

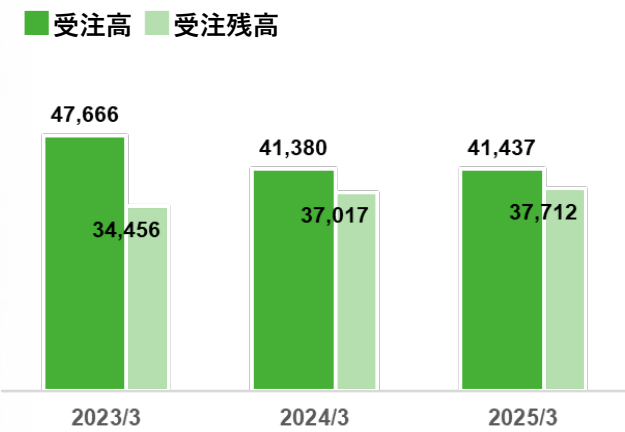
射出成形機・付帯設備 樹脂加工設備	ダイカストマシン・付帯設備 金属加工設備	パワー半導体製造装置	塗装・表面加飾設備 (電着塗装、スプレー塗装 蒸着、スパッタ)	自動組立装置 (モータ・インバータ等)
自動組立装置 (カメラ・センサー・ ECU等)	各種コンベア・ 車両組立装置・ 自動車両検査装置	自動組立装置 (電池モジュール・パック)	各種検査装置 (画像・X線・その他)	



売上高の推移
(MT2024実績 / MT2027計画)



営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績 / MT2027計画)



過去3年の受注高・受注残高の推移

ヘルスケア

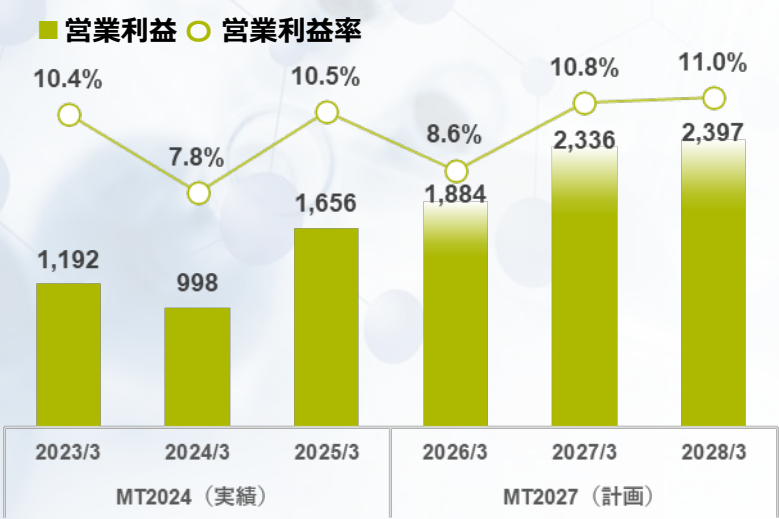
事業分野：医薬品 化粧品 健康食品 再生医療

主な取扱商品

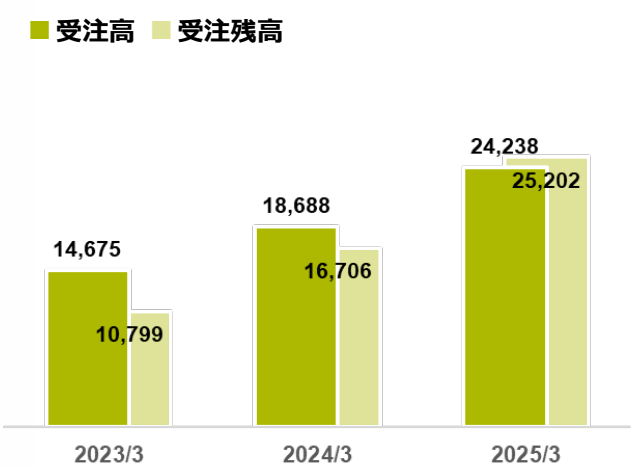
錠剤外観検査システム	錠剤印刷検査システム	カプセル外観検査システム	PTPブリスター包装ライン	四方シール包装ライン	エンジニアリング業務
バイアル充填ライン	シリンジ充填ライン	粉末剤充填ライン	リーク検査機	自動細胞培養装置	各種包装ライン



売上高の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



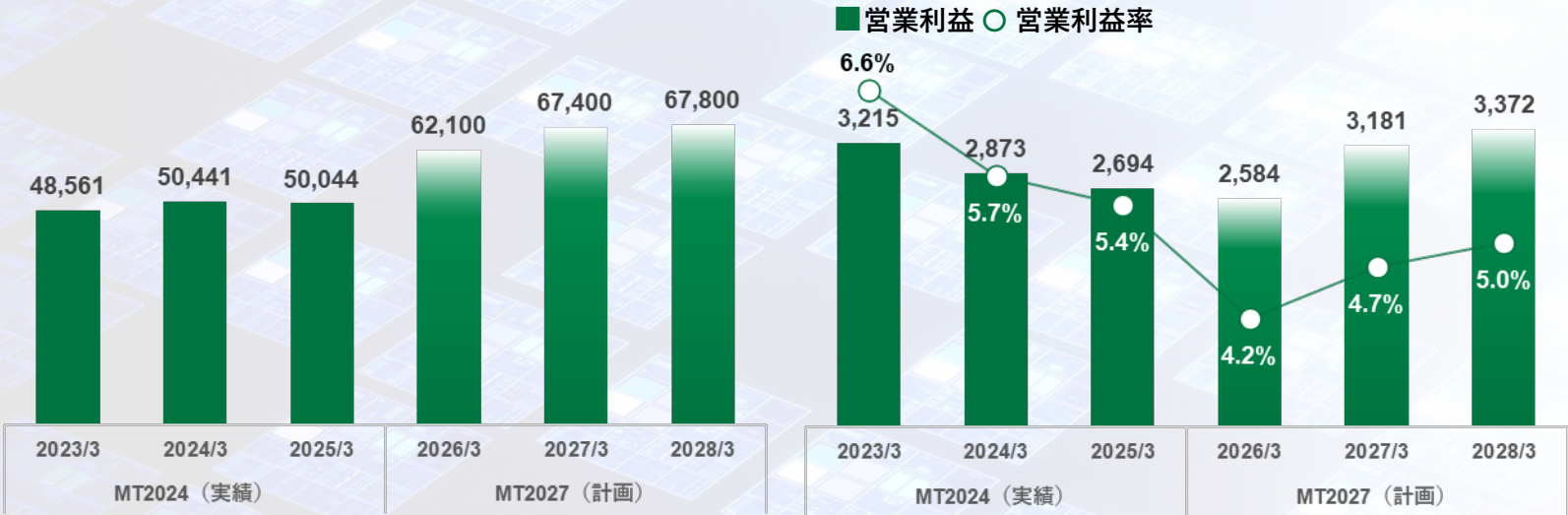
過去3年の受注高・受注残高の推移

エレクトロニクス

事業分野：表面実装（SMT） 物流自動化ソリューション（LOGITO） 半導体・電子部品

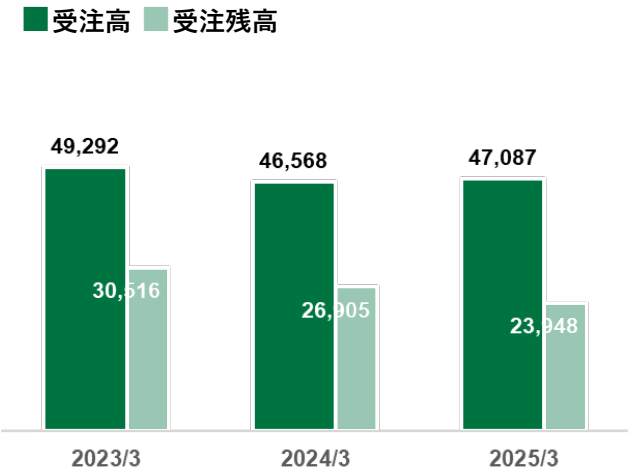
主な取扱商品

電子部品実装システム (SMT)	SMT各種周辺装置	SMT後工程自動化設備	SMT各種検査装置	電子部品材料管理システム	半導体・電子デバイス 関連システム
次世代ディスプレイ 関連システム	各種物流自動化システム	スマートファクトリー ソリューション	組立工程自動機・専用機	AI・IoT等 各種ソフトウェア	



売上高の推移
(MT2024実績／MT2027計画)

営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績／MT2027計画)



過去3年の受注高・受注残高の推移

航空・インフラ

事業分野：航空 空港 防衛・防災 CS（保守点検・修理部品）

主な取扱商品

航空機地上支援機材
トーイングトラクター・デアイサー・パセンジャーステップ

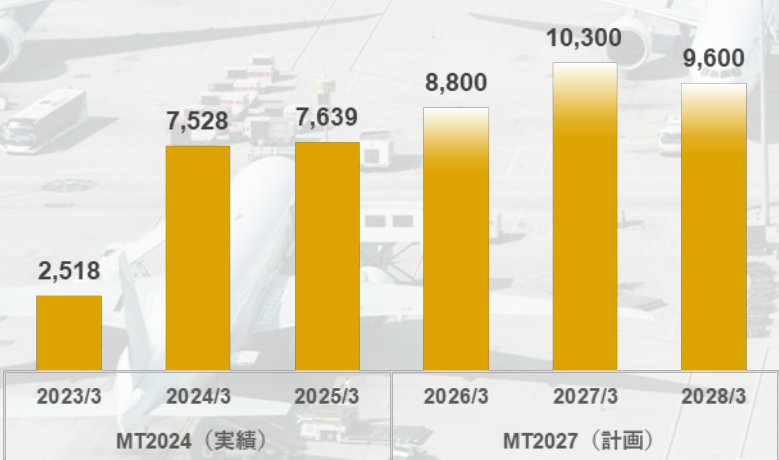
空港用地上支援機材
除雪車・滑走路用スーパー・空港用化学消防車

空港施設用設備
爆発物検知装置・ハイドラント設備

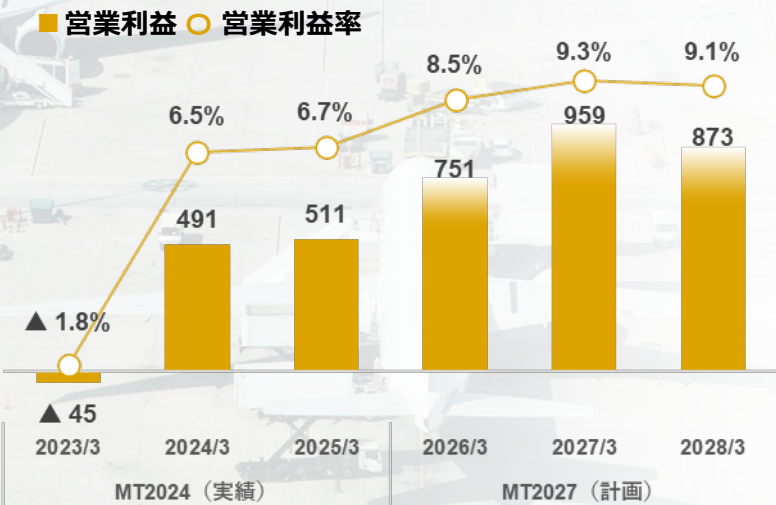
災害救助用特殊車両
拠点機能形成車

省人・省力化機材
手荷物搬送用ローラートラックコンベア

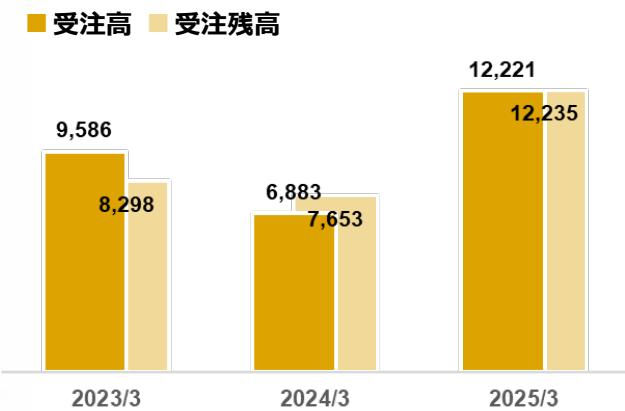
防衛関連器材



売上高の推移
（MT2024実績／MT2027計画）



営業利益・営業利益率の推移
（MT2024実績／MT2027計画）



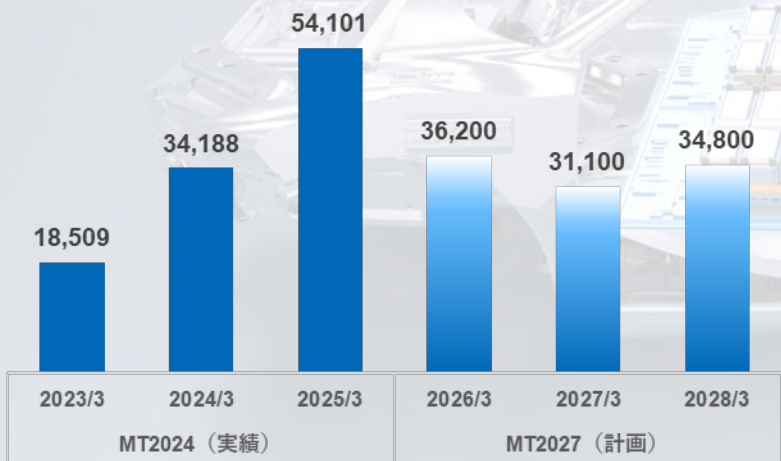
過去3年の受注高・受注残高の推移

エネルギーソリューションズ

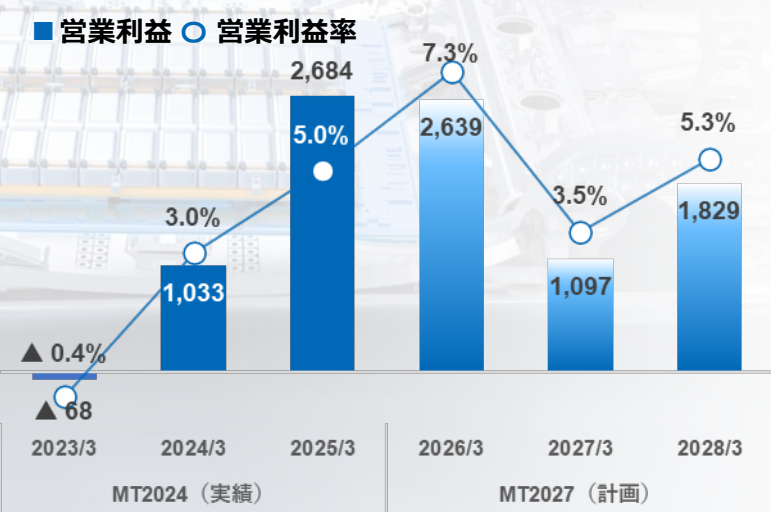
事業分野：リチウムイオン・バッテリー 燃料電池 リサイクル次世代電池

主な取扱商品

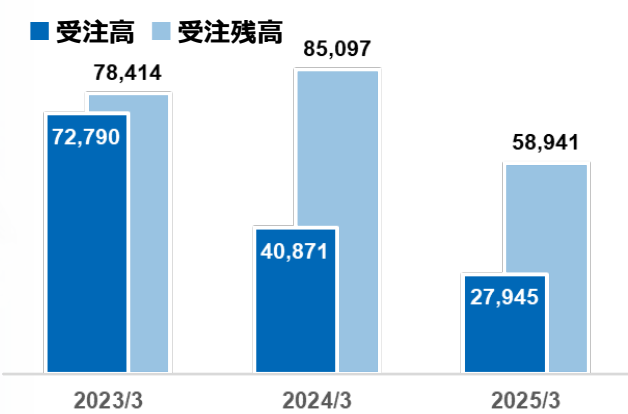
電池材料販売	正・負極材製造設備	セパレーター製造設備	セル電極製造設備	セル組立設備	充放電検査設備
モジュール組立設備	全固体電池製造設備	燃料電池製造設備	太陽光関連設備	インクジェット	レアメタル抽出・FFAS回収



売上高の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



営業利益・営業利益率の推移
(MT2024実績/MT2027計画)



過去3年の受注高・受注残高の推移

02 2025年3月期 決算概要

決算のポイント

単位：百万円

	2024/3	2025/3	
	実績	実績	前期比
受 注 高	203,724	206,348	+ 1.3%
売 上 高	187,790	221,755	+ 18.1%
営 業 利 益	9,090	13,103	+ 44.1%
経 常 利 益	9,004	13,597	+ 51.0%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	7,461	8,841	+ 18.5%
E P S	235.33円	278.57円	+ 43.24円

業績

増収増益 各段階利益ともに過去最高値

売上高は初の2,000億円超え
営業利益は2030年の目標値125億円を上回り131億円を達成

事業

エナジーソリューションズ事業が業績を大きくけん引
ヘルスケア、自動車事業も貢献

海外

米州が過去最高の業績

自動車事業が大きく貢献

セグメント別業績 (売上高・営業利益)

単位：百万円

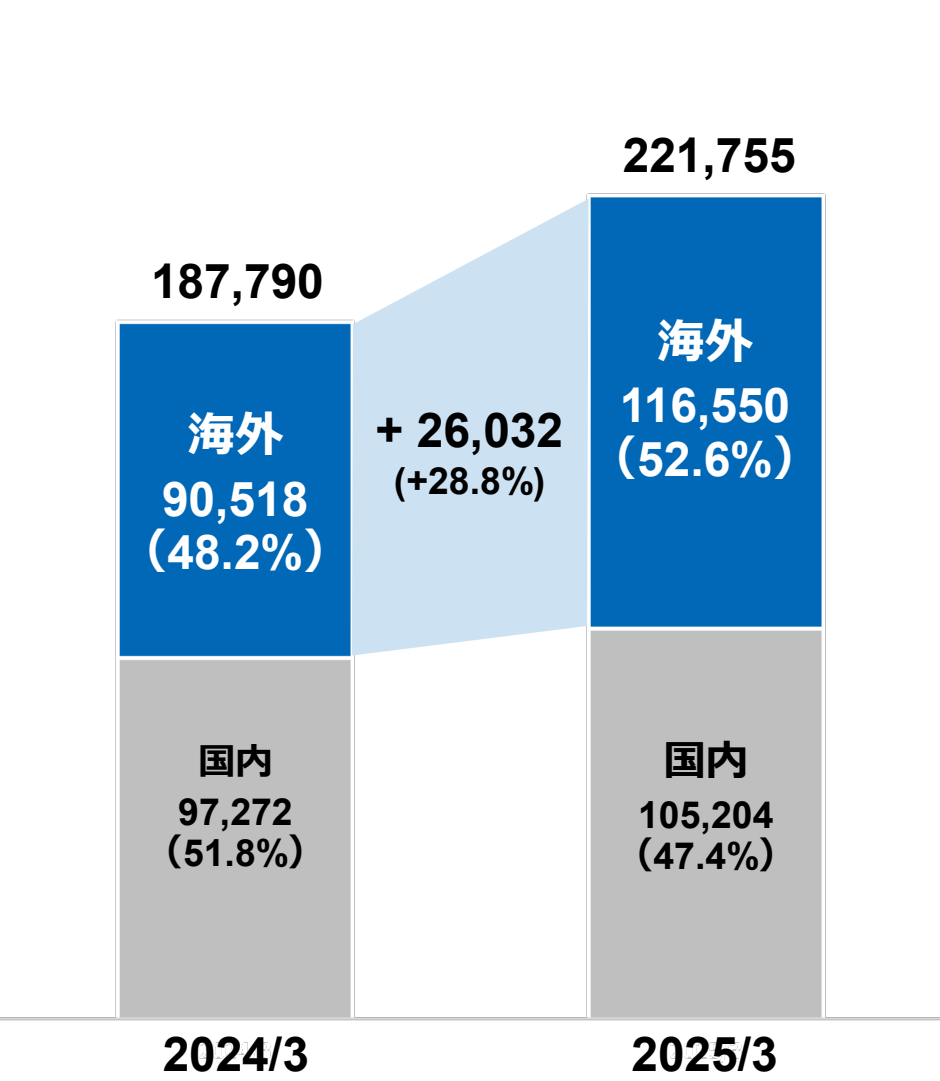
	売上高			営業利益			要因
	2024/3	2025/3	増減率	2024/3	2025/3	増減率	
プラント・エネルギー	15,723	23,856	+51.7%	406	1,843	+353.1%	バイオマス発電所向け設備、 地熱・天然ガス開発向け機材等の売上が寄与
エネルギーソリューションズ	34,188	54,101	+58.2%	1,033	2,684	+159.7%	北米向けリチウムイオン・バッテリー製造装置の売上がけん引
産業機械	27,897	29,505	+5.8%	1,076	890	▲17.2%	医療機器製造用の自動組み立て装置や、 塗装関連および周辺機器の売上計上。粗利率低下で営業利益減
エレクトロニクス	50,441	50,044	▲0.8%	2,873	2,694	▲6.2%	中国経済低迷の影響を受け、売上高はやや減少、利益率低下
自動車	38,819	40,742	+5.0%	1,873	2,186	+16.7%	中国向けは大幅に減少も、米州が大きく伸長
ヘルスケア	12,780	15,742	+23.2%	998	1,656	+66.0%	高度管理医療機器向けの製造装置や、 エンジニアリングを伴う包装機ラインの需要が増加
航空・インフラ	7,528	7,639	+1.5%	491	511	+4.1%	エアライン向けの地上支援機材等の販売増加
合 計	187,790	221,755	+18.1%	9,090	13,103	+44.1%	

海外売上高 (仕向け先ベース)

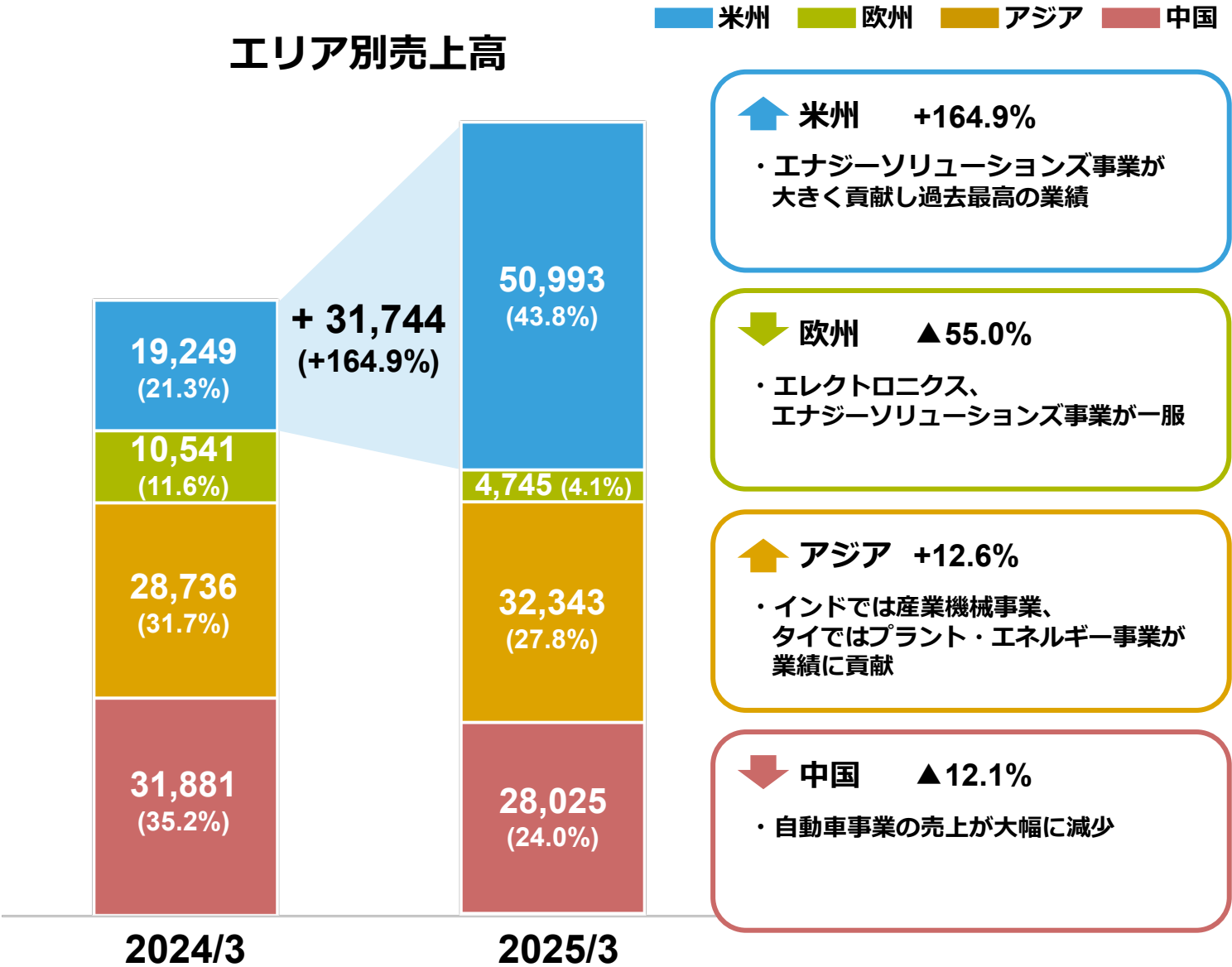
単位：百万円

国内・海外のカッコ内数値は、総売上高に対する売上高の比率
各エリアのカッコ内数値は、海外売上高に対する比率

売上高



エリア別売上高



セグメント別 業績予想

単位：百万円

	売上高			営業利益		
	2025/3	2026/3（業績予想）	増減率	2025/3	2026/3（業績予想）	増減率
プラント・エネルギー	23,856	25,900	+8.6%	1,843	1,184	▲35.8%
エネルギーソリューションズ	54,101	36,200	▲33.1%	2,684	2,639	▲1.7%
産業機械	29,505	20,900	▲29.2%	890	936	+5.1%
エレクトロニクス	50,044	62,100	+24.1%	2,694	2,584	▲4.1%
自動車	40,742	44,100	+8.2%	2,186	2,022	▲7.5%
ヘルスケア	15,742	22,000	+39.8%	1,656	1,884	+13.7%
航空・インフラ	7,639	8,800	+15.2%	511	751	+46.8%
合計	221,755	220,000	▲0.8%	13,103	12,000	▲8.4%

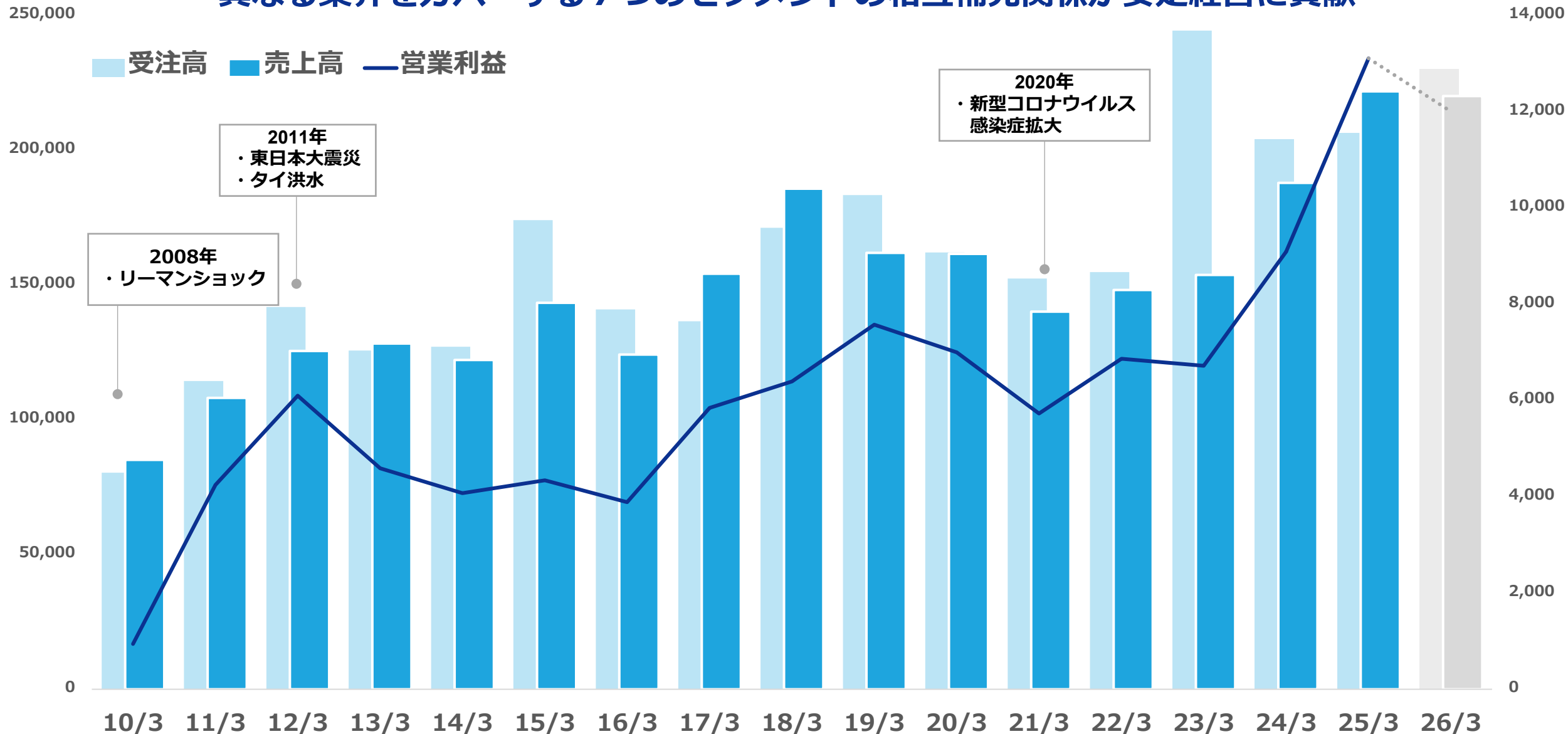
03 成長戦略「V2030」 新中期経営計画「MT2027」

連結業績の推移

受注高・売上高
(百万円)

異なる業界をカバーする7つのセグメントの相互補完関係が安定経営に貢献

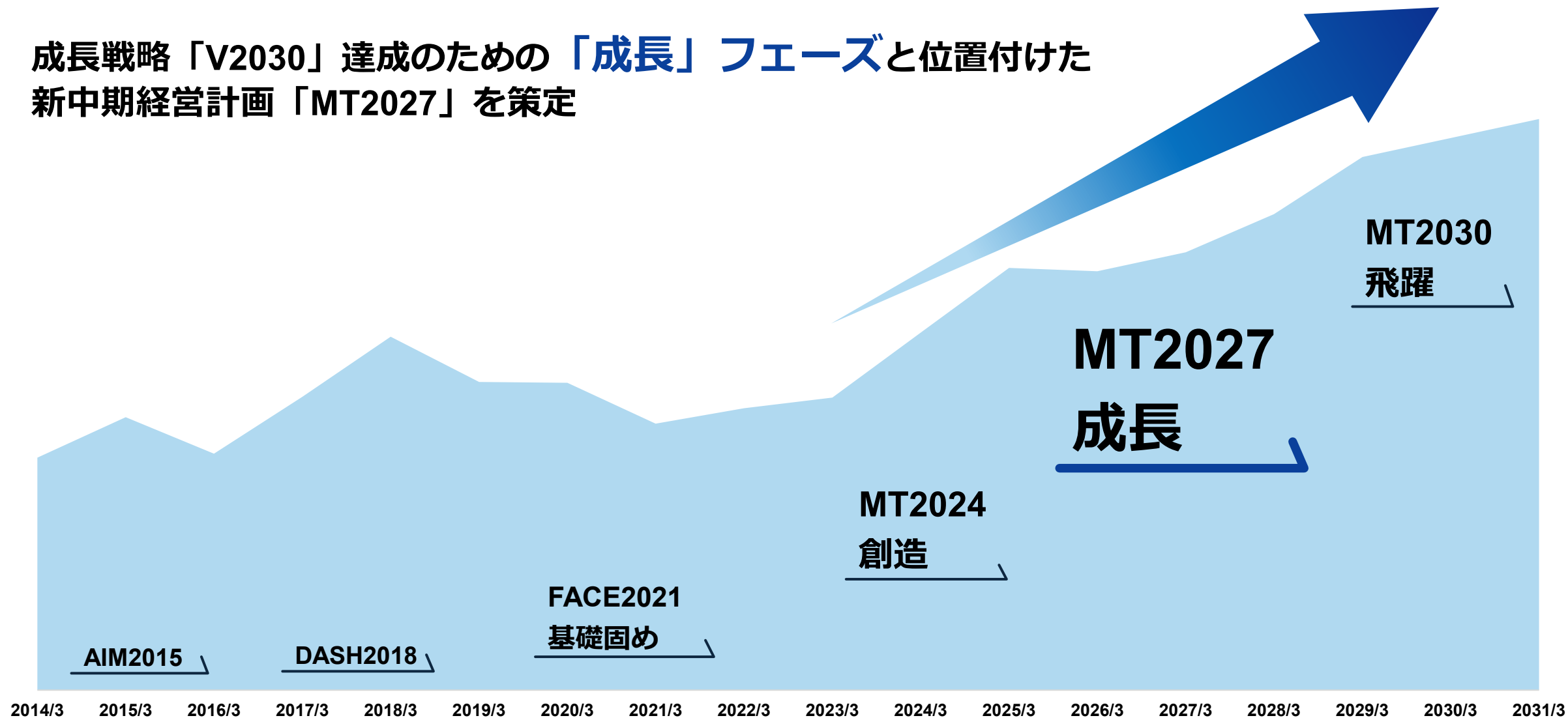
営業利益
(百万円)



成長戦略「V2030」・新中期経営計画「MT2027」

成長戦略 V2030

成長戦略「V2030」達成のための「成長」フェーズと位置付けた
新中期経営計画「MT2027」を策定



成長戦略「V2030」



積極的な投資

PL経営＋BS経営

マルチステークホルダーを意識した経営

グローバルの成長を取り込む

モノ売りから「モノ×コト」売り

DX推進

中期経営計画「MT2027」

売上高

2,500億円

営業利益

150億円

* 2028年3月期（3年目計画値）

1.成長を加速する事業戦略

- ①事業ポートフォリオの最適化
- ②事業投資の推進
- ③グローバルビジネス拡大
- ④エンジニアリング機能の拡大

2.変化に対応するレジリエントな経営基盤

- ①人的資本の価値向上
- ②資本効率の最大化
- ③ガバナンスとリスク管理の強化
- ④DXでのイノベーションと競争力強化

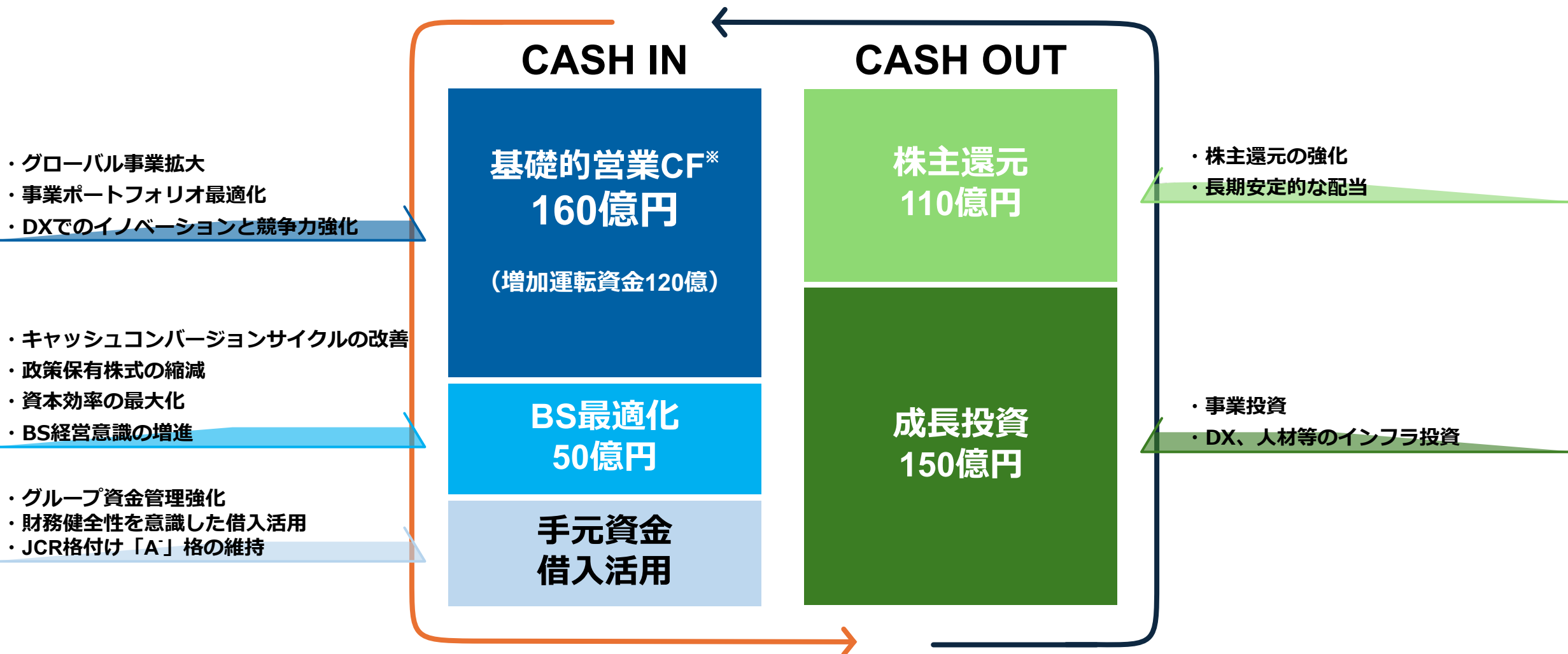
新中期経営計画「MT2027」 定量目標

単位：百万円

	MT2024	MT2027		
	3年目実績	2026/3 (1年目計画)	2027/3 (2年目計画)	2028/3 (3年目計画)
受注高	206,348	230,000	250,000	270,000
売上高	221,755	220,000	230,000	250,000
営業利益	13,103	12,000	13,000	15,000
経常利益	13,597	12,300	12,900	14,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,841	8,600	9,000	10,300
ROE	11.6%	10%以上	10%以上	10%以上

キャッシュ・アロケーション

3年間で創出するキャッシュを成長投資、株主還元、財務健全性確保に適切に配分



※基礎的営業CF = 当期純利益 + 減価償却費 - 増加運転資金

戦略的事業投資

事業投資の基本方針

- ・ ビジネスの拡大・強化および新ビジネスの創出を目的とし、投資先との連携を強め、経営資源を投入して収益力を向上させることを目指す
- ・ キャピタルゲインのみだけを追求するのではなく、実業を通じたシナジー創出による企業価値向上を目指す

中核領域

既存7セグメントを
強化する投資

隣接領域

社会価値を生み出し
社会課題の解決に向けた
取り組みへの投資

- 脱炭素社会 ● 3R・循環型社会
- サプライチェーン 社会インフラ
- AI・IoT 次世代通信
- 医療 安全・安心な暮らし

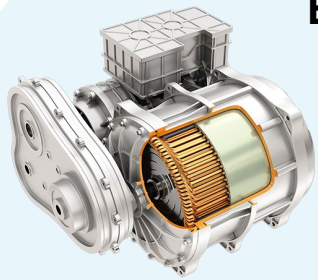
新規領域

新たなビジネス領域
ビジネスモデルへ
挑戦するための投資

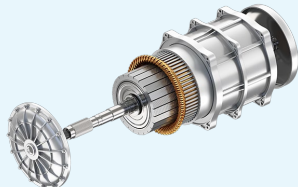
04 注力分野

大手自動車や部品メーカーへ中核部品製造に必要な設備を提供

EV駆動モジュール



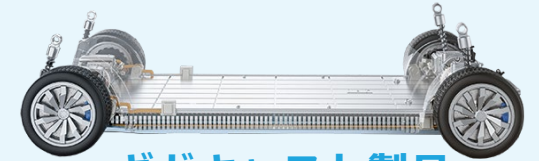
e-Axle



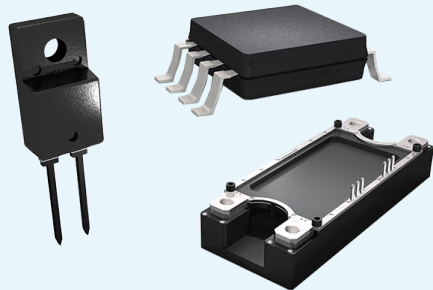
モーター



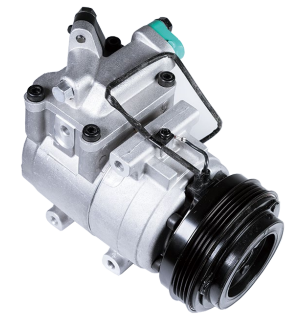
インバーター



ギガキャスト製品



パワー半導体



電気コンプレッサー



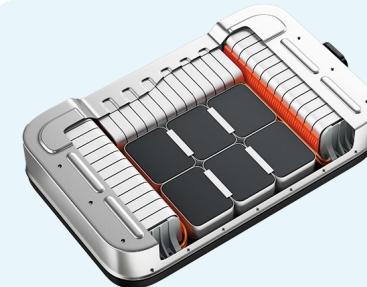
電動ブレーキシステム



電動パーキングブレーキ



電動パワー
ステアリングシステム



リチウムイオン・
バッテリー



電動ウォーターポンプ

医薬品、医療機器メーカーへ検査機器、製造装置、自動化ラインの販売

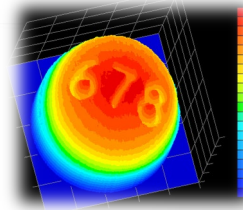


医薬



viswill

第一実業ビスウィル社製
錠剤外観検査システム



各種医薬品包装機



医療機器



ディスポーザブル医療機器



セルフメディケーション分野

LOGITOとは

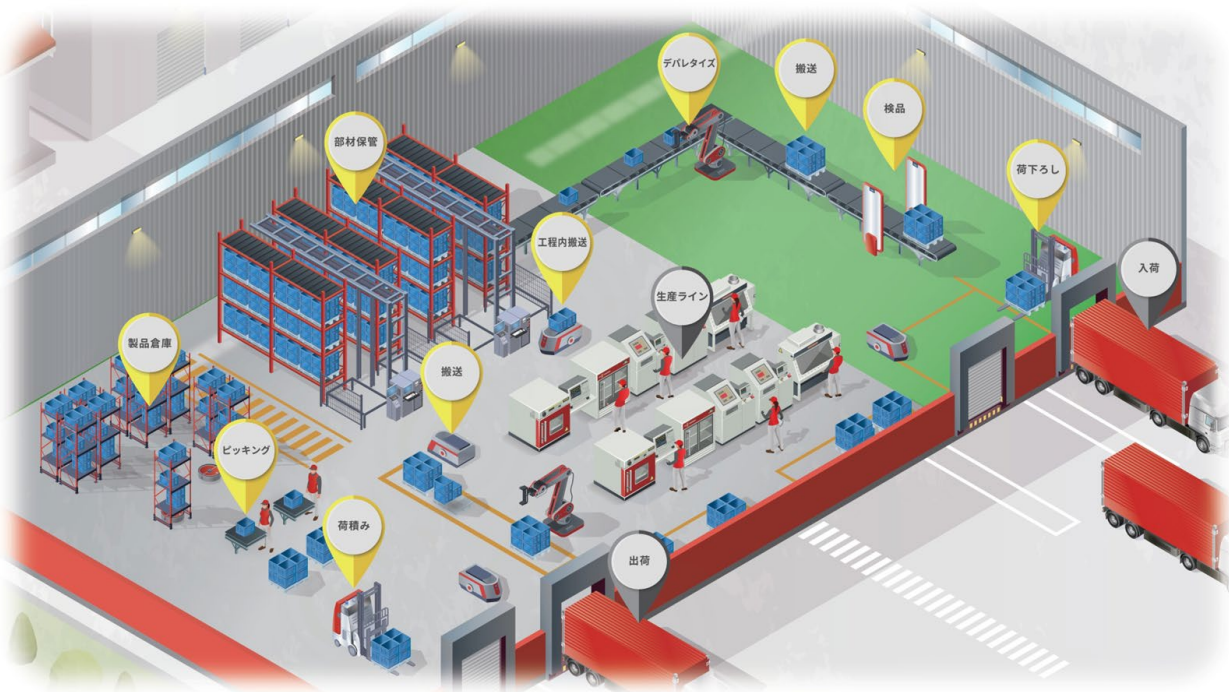
自由に、スマートロジスティクスをデザインする

LOGITO

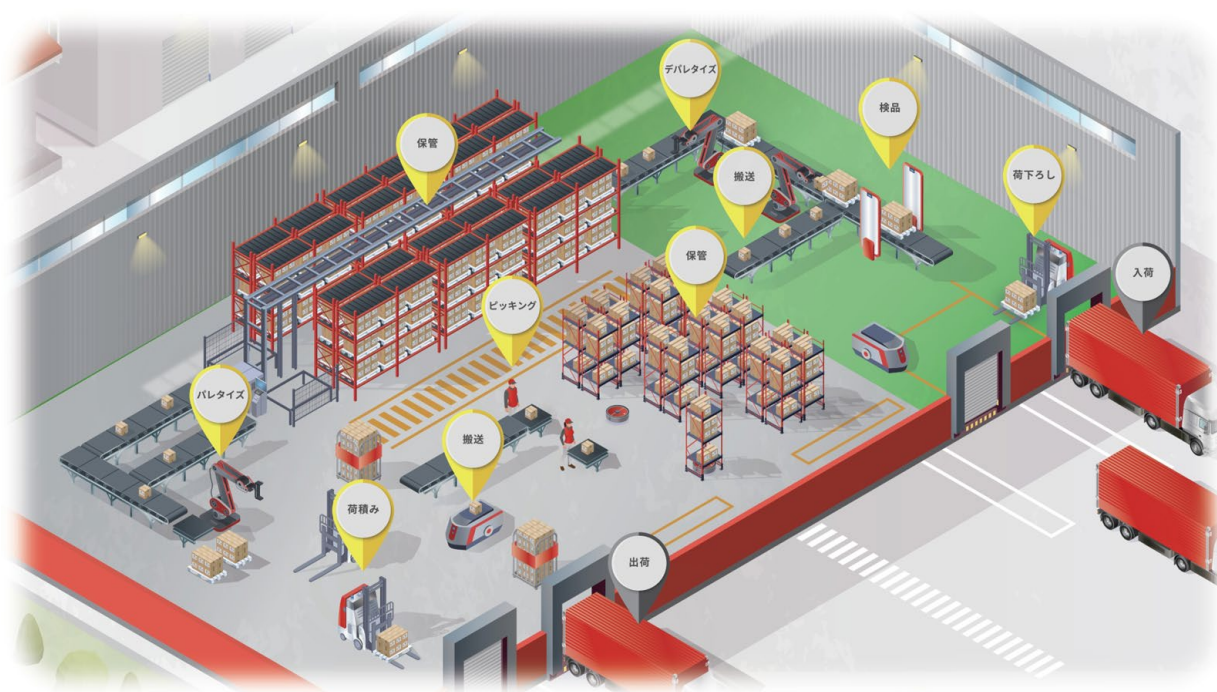
ロジト

LOGITOは製造業や倉庫業等の企業様向けに、
物流の自動化を図るソリューションサービスです。

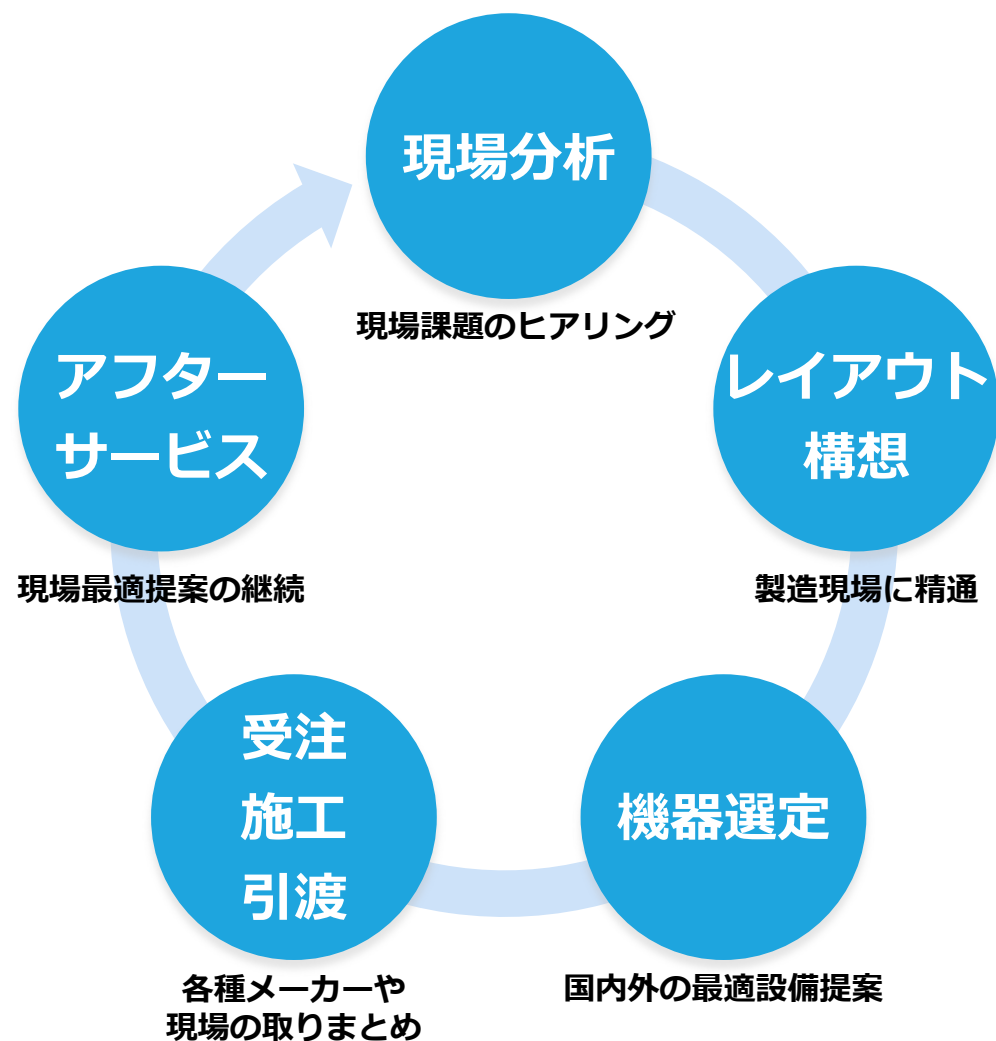
製造工場内



物流倉庫



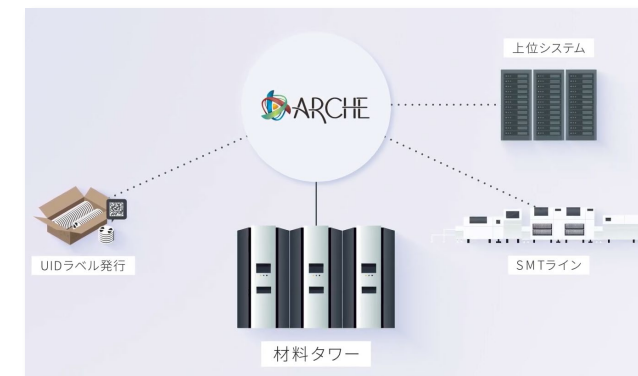
物流自動化ソリューションLOGITO



材料入出庫の自動化



材料管理設備のコントロール
現場と上位システムとの連動



棚搬送AGVによる
省人化の実現



05 環境負荷低減に向けた取り組み

環境負荷低減に向けた取り組み

3月 太陽光発電事業開始
4月 バイナリー発電装置の取扱開始

3月 第一実業飯田太陽光発電所

8月 環境省・GEC(地球環境センター)
「二国間クレジット制度・設備補助事業」初採択



田原バイオマス発電所 2025年4月営業開始 (愛知県田原市)



第一実業飯田太陽光発電所 (長野県飯田市)

4月 サステナビリティ推進部発足
12月 TCFDレポート発行

5月 環境省主催の
「デコ活」に賛同

3月 田原バイオマス発電所合同会社への出資
4月 サステナビリティ推進委員会を設置
8月 TCFD提言への賛同

6月 つばめBHB株式会社との資本業務協定を締結
オンサイト型アンモニア合成システムの実用化
低環境負荷アンモニア技術の普及促進

12月 持続的な成長を維持するため
マテリアリティ (重要課題) の特定

「万葉の大茶会」を通じた水素ビジネス推進への取り組み

万葉の大茶会は、地域文化と持続可能な未来を考える場として開催され、当社はこのイベントを通じ、環境意識やサステナビリティへの理解を深め、水素エネルギーの普及活動を推進しています。

大宰府大会 令和6年2月10日



福岡市道路下水道局中部水処理センターにて製造された下水由来の水素を活用し、会場内の一部設備（音響、暖房ほか）へ電力を供給するなど、水素の新たな活用の形を提案しました。

多賀城大会（宮城県） 令和6年10月12日



照明の電力を水素エンジン発電機で供給し、伝統文化と最先端技術を融合させることで水素の新たな活用方法を提案しました。

飛鳥・万博大会 令和7年6月6日



両側拡幅多目的トレーラー

両側拡幅多目的トレーラーの出展および「水素フェア」への参加を通じ、持続可能な未来社会の一端を担う技術と取り組みを来場者の皆様にご紹介しました。

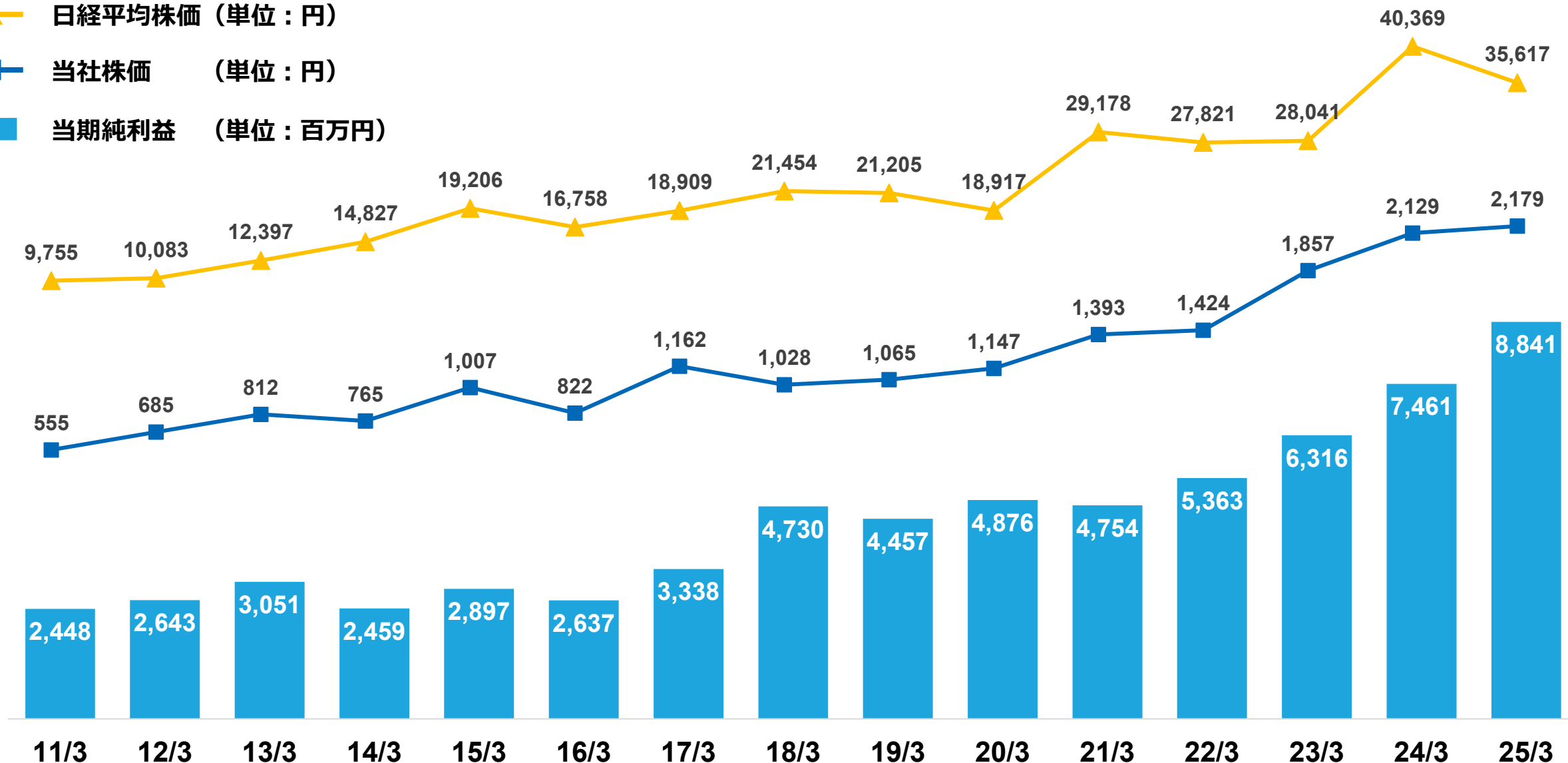
06 株価・株主還元

当社株価と日経平均株価の推移

▲ 日経平均株価（単位：円）

■ 当社株価（単位：円）

■ 当期純利益（単位：百万円）



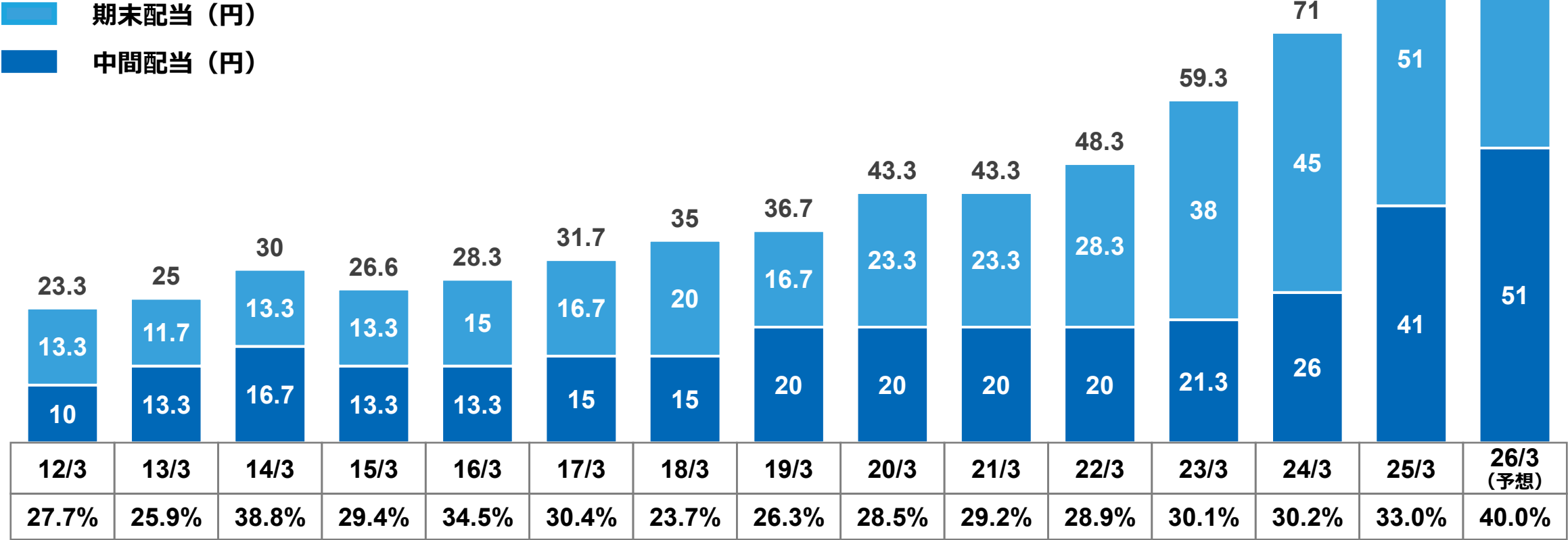
注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の株価は株式分割を反映したものです。

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025

配当金・配当性向

新方針

一株当たり年間配当金を
連結配当性向 **40%** またはDOE（株主資本配当率）**4.0%** の各基準で算出した金額の
いずれか高い方を基準として、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針とする。



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

本日のまとめ



独立系 総合機械商社

自由な立ち位置、幅広い設備の取り扱いに強み



長期安定経営

ものづくり企業の縁の下の力持ち、時代のニーズをとらえて業容拡大



独自のエンジニアリング

製造現場のトータルコーディネイト、製造業にとってなくてはならない存在



成長戦略

戦略的事業投資をはじめとした基本戦略の着実な実行



第一実業株式会社
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

世界のモノづくりに、 創造の翼を。

Inspiring Creative Breakthroughs in Global Manufacturing.

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

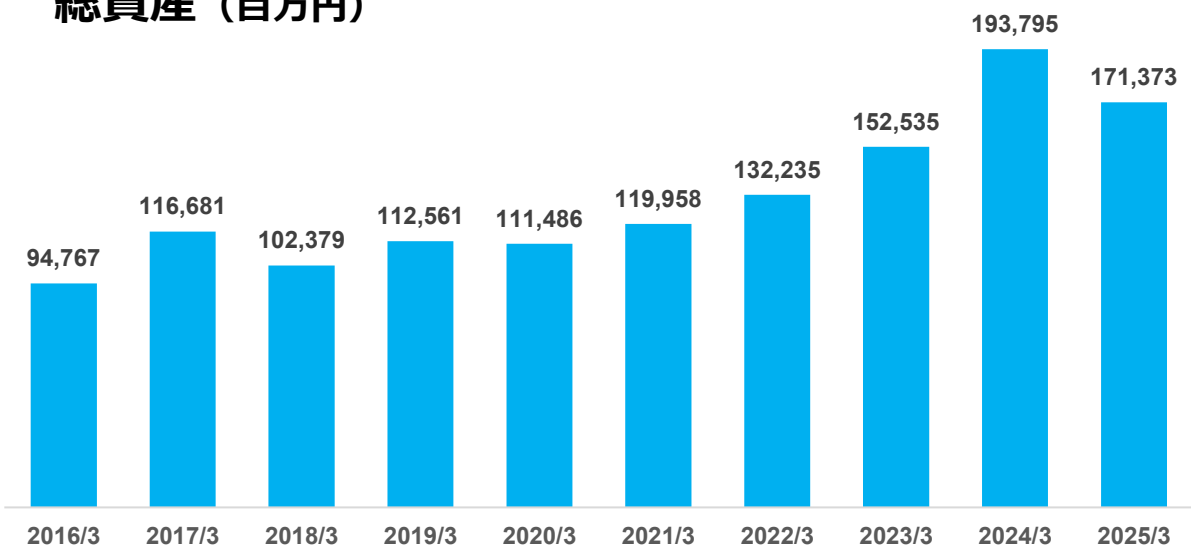
第一実業は「次世代型エンジニアリング商社」としてものづくりの発展を支えています

参考資料

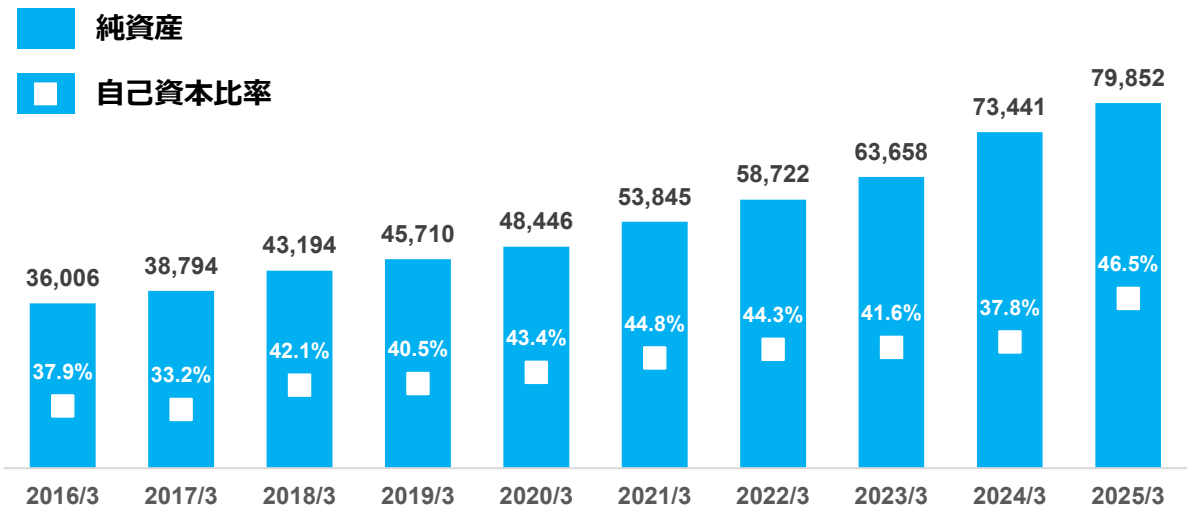
- 連結財政状態の推移
- 連結業績の推移
- セグメント情報
- 中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値
- 新マテリアリティ

連結財政状態の推移

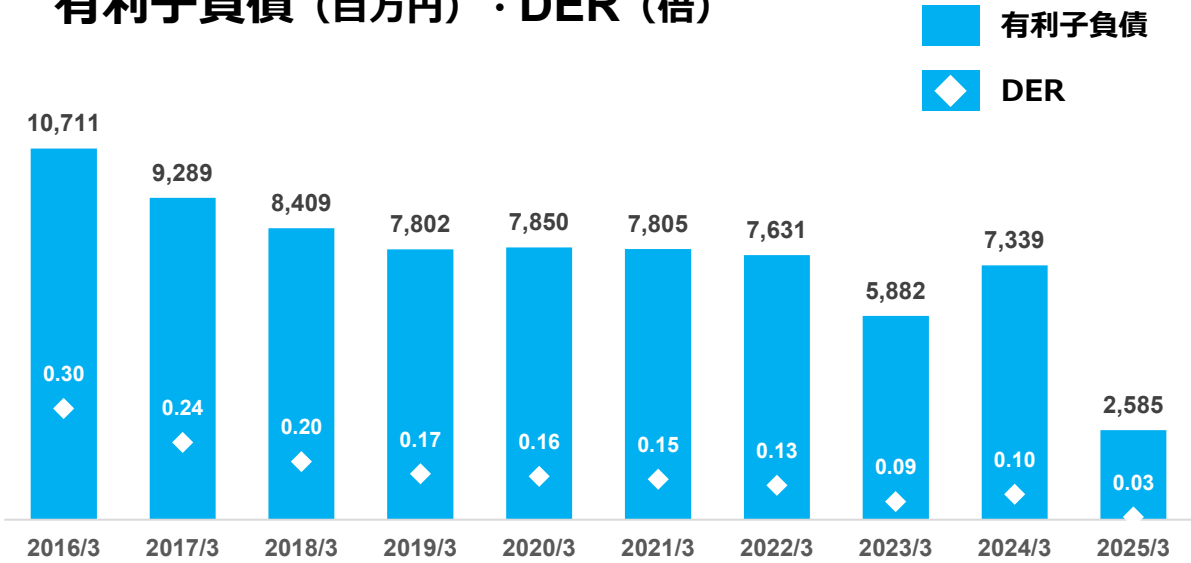
総資産（百万円）



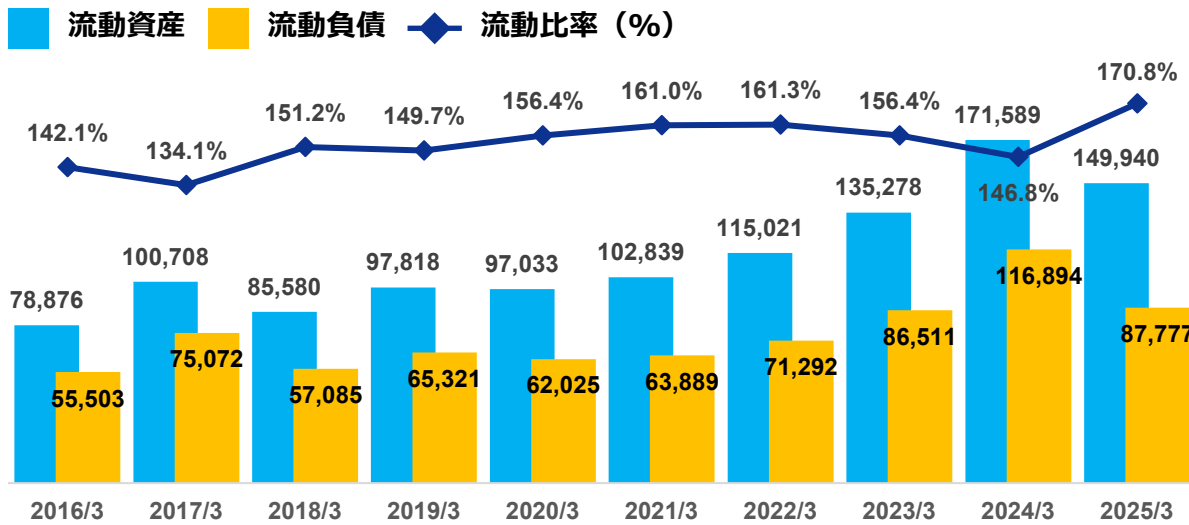
純資産（百万円）・自己資本比率（%）



有利子負債（百万円）・DER（倍）

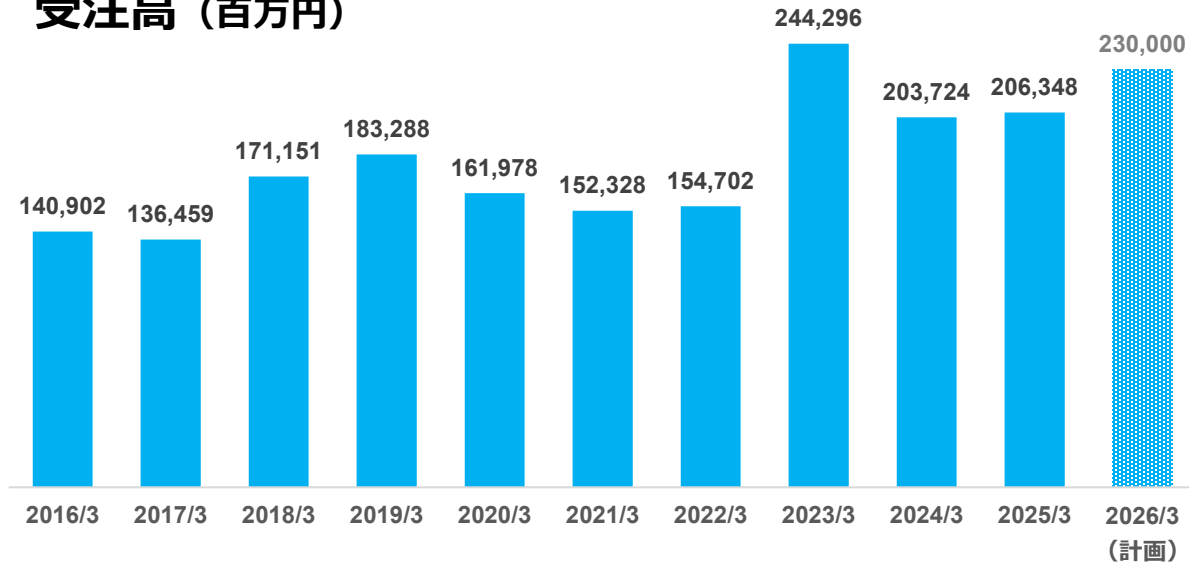


流動資産・負債（百万円）／流動比率（%）

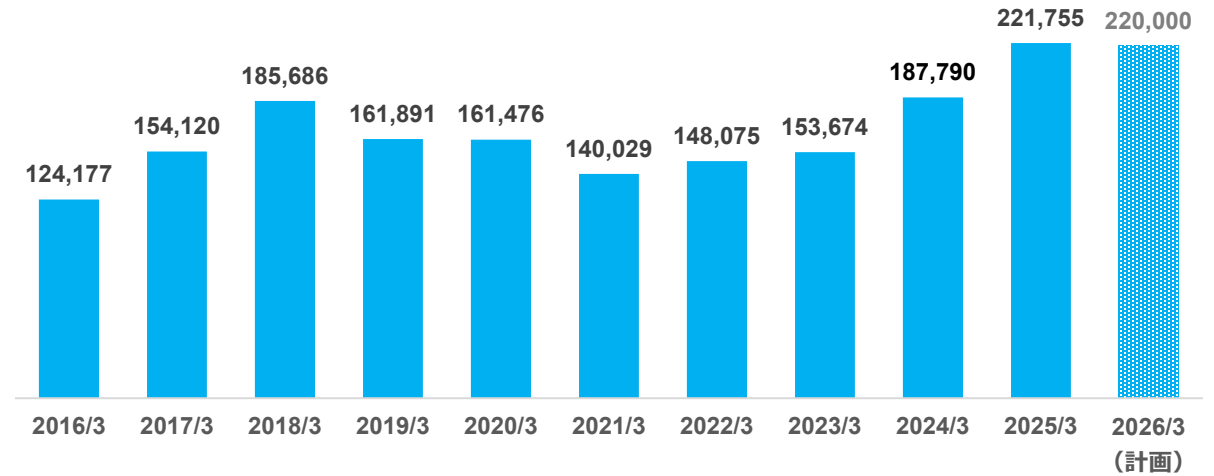


連結業績の推移

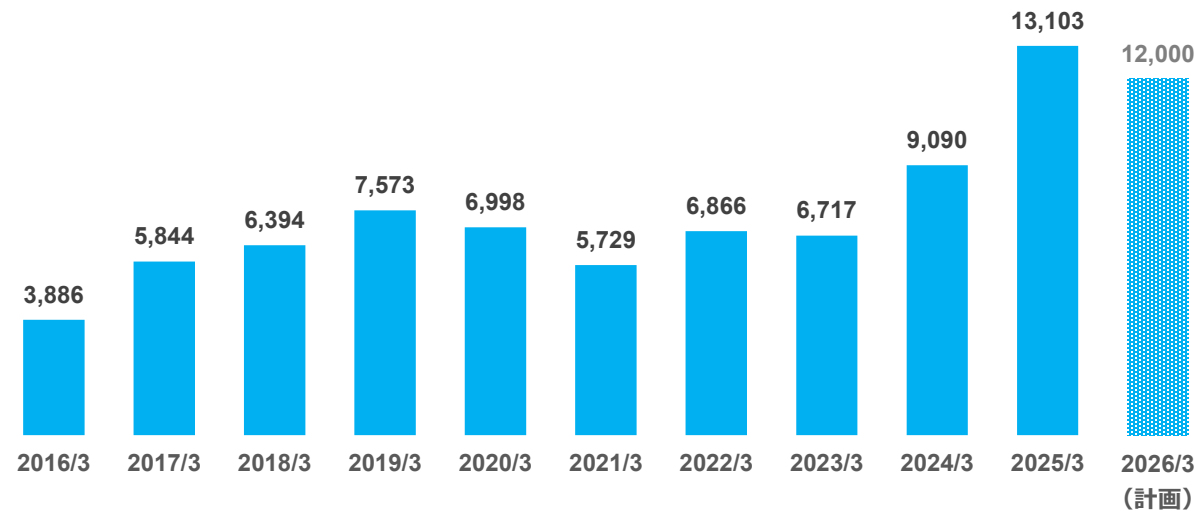
受注高（百万円）



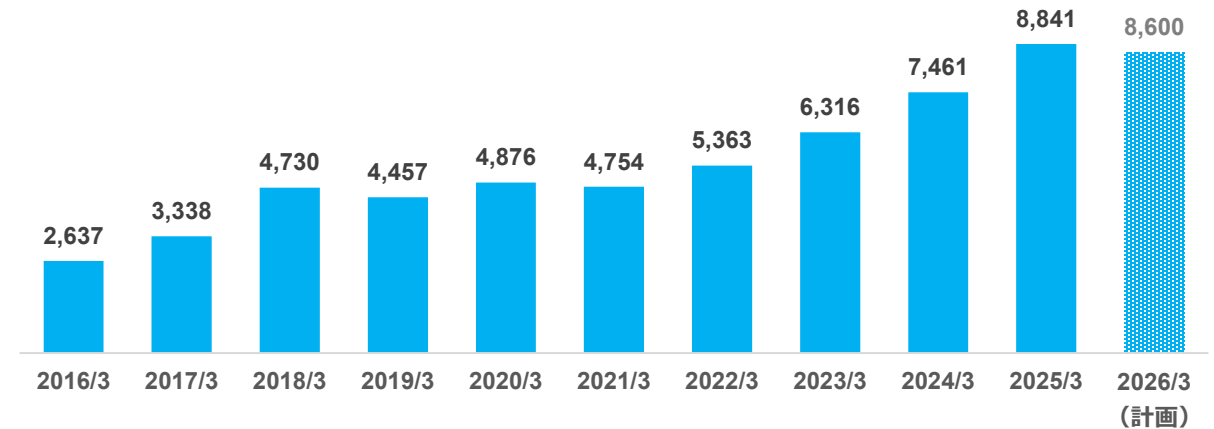
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



7つの事業領域

幅広い業界に事業を展開し、安定経営を継続

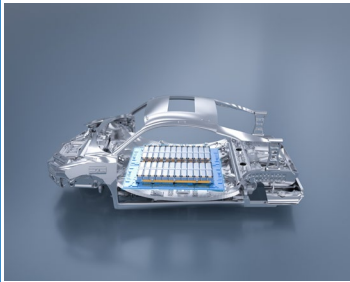
プラント・エネルギー



資源開発
石油
化学
素材
脱炭素・
再生可能エネルギー
DX
エンジニアリング

10.8%

エネルギーソリューションズ



リチウムイオン・
バッテリー
燃料電池
リサイクル
次世代電池

24.4%

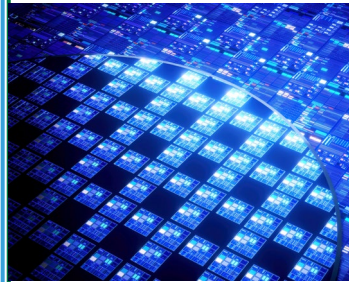
産業機械



家電・OA
食品包装
医療機器
住宅設備
物流資材
アグリ
(イチゴ培養苗)

13.3%

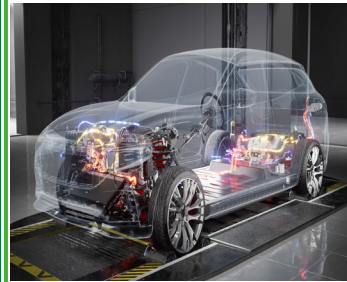
エレクトロニクス



表面実装
(SMT)
物流自動化
ソリューション
(LOGITO)
半導体・電子部品

22.6%

自動車



車両内外装
パワートレイン
カーエレクトロニクス・ADAS

18.4%

ヘルスケア



医薬品
化粧品
健康食品
再生医療

7.1%

航空・インフラ



航空
空港
防衛・防災
CS
(保守点検・修理
部品)

3.4%

* 円グラフ内の数値は売上高構成比率 (2025年3月期)

参考資料-4

新中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値

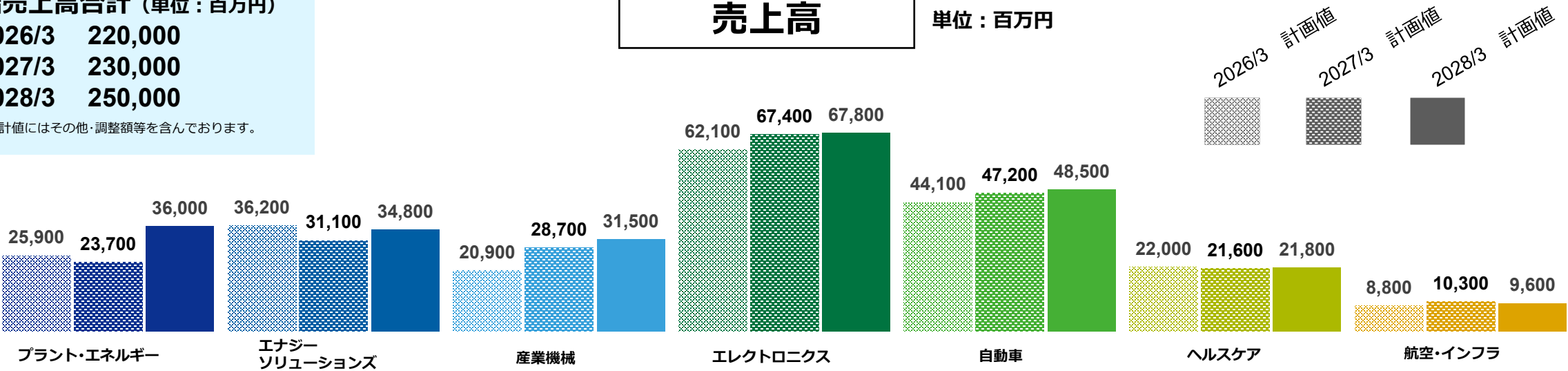
連結売上高合計（単位：百万円）

2026/3	220,000
2027/3	230,000
2028/3	250,000

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

売上高

単位：百万円



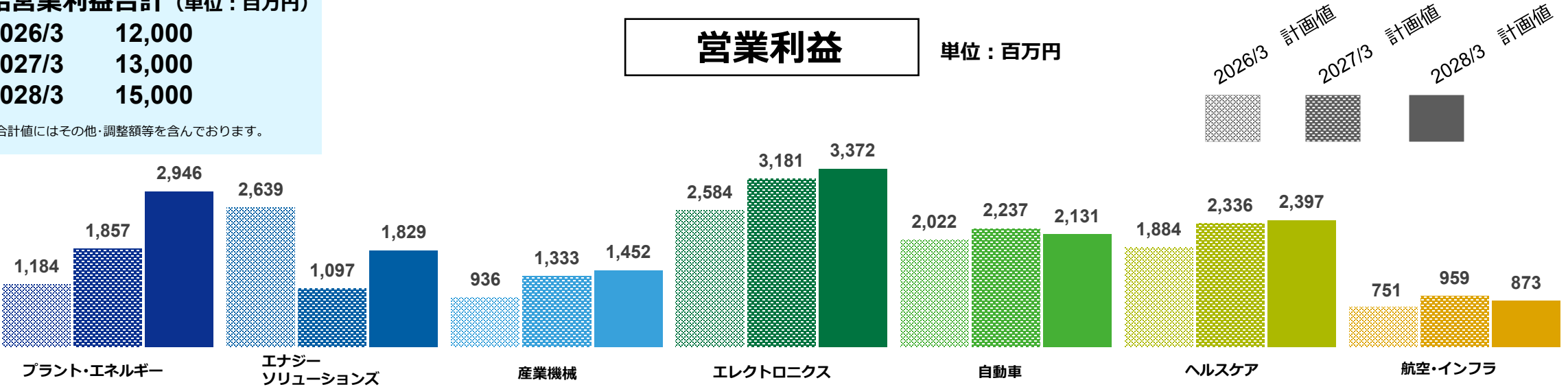
連結営業利益合計（単位：百万円）

2026/3	12,000
2027/3	13,000
2028/3	15,000

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

営業利益

単位：百万円



01

ものづくり現場における新たな価値の創造

徹底した現場主義により顧客ニーズを発掘し、社会課題の解決につながる新たな価値を提供している。

02

エンジニアリング機能強化によるソリューションの高付加価値化

当社のミッションである、人と技術をつなぐインテグレーション機能を発展させ、ものづくりを中心としたお客様の現場で、圧倒的な存在価値が認められている。

03

働く環境の整備と多様な人材の確保・育成

誰もが安心して働ける環境と、多様性・包摂性を尊重する企業風土の中で育まれた社員一人一人の強みが、組織全体の強みにつながり、創造的進化を続けている。

04

気候変動への取り組みとサプライチェーンマネジメント

地球温暖化をはじめとするさまざまな社会課題の解決に向けた取り組みを、サプライチェーン全体との協業により推進している。

05

ガバナンスの拡充

事業環境の変化に機敏に対応するグループ経営体制を構築し、効果的かつ健全で透明性のある、揺るぎないガバナンス体制を維持・強化している

IR資料のご紹介



DJK Report 2024(統合報告書)では、
当社の財務・非財務情報を総合的にご確認ください。

https://www.djk.co.jp/ir/integrated_report.html



決算関連資料
(決算説明資料・ファクトシート)
<https://www.djk.co.jp/ir/briefing.html>

FACT SHEET 2024年3月期第3四半期 / Third quarter of year ending March 31, 2024									
■受注高 Orders Received					■売上高 Net Sales				
152,328	154,702	155,880	140,026	148,075	153,074	152,328	154,702	155,880	140,026
46,081	44,286	46,203	41,145	40,060	47,841	46,081	44,286	46,203	41,145
10,535	10,690	10,034	10,841	10,300	10,151	10,535	10,690	10,034	10,841
33,287	36,787	42,834	37,844	42,398	38,843	33,287	36,787	42,834	37,844
21,007	18,787	43,166	30,096	35,187	28,916	21,007	18,787	43,166	30,096
2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3
■営業利益 Operating Income					■親会社株主に帰属する四半期利益 Profit Attributable to Owners of Parent				
5,729	6,886	6,717	4,924	5,303	4,316	5,729	6,886	6,717	4,924
1,068	1,404	1,416	1,394	1,376	1,166	1,068	1,404	1,416	1,394
1,068	1,404	1,416	1,394	1,376	1,166	1,068	1,404	1,416	1,394
1,068	1,404	1,416	1,394	1,376	1,166	1,068	1,404	1,416	1,394
840	945	945	890	899	812	840	945	945	890
2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2024/3



個人投資家の皆さまへ 会社紹介資料

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS03440/8d9a2afa/5aad/4035/bf30/e66425de1163/20220706152724566s.pdf>



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025



第一実業株式会社